

第 5 回統計委員会と統計利用者との意見交換会について
～地域経済の分析・地域活性化のための統計利用～

平成 23 年 12 月 16 日
内閣府統計委員会担当室

1. 背景及び目的

日本の地域は、人口減少と高齢化、財政制約、経済のグローバル化の中で非常に厳しい状況にある。各地域が持つ地域資源の優位性を活かし、地域経済の活性化を図っていくためには、地域経済の現状や各地域を取り巻く経済的・社会的な構造変化を正確に把握することが必要である。また、各地域の国内あるいは世界における位置づけ、他地域や海外との経済的相互依存関係等についても把握していくことが求められている。

このことは、東日本全域に極めて甚大な被害をもたらした東日本大震災からの復旧・復興を考えていく上でも非常に重要である。各地域の実態はさまざまであり、被害の状況と地域の経済・社会構造に応じてきめ細かく検討していくことが重要である。

このような背景から、各地域における実態の把握・分析、今後の地域の活性化や震災からの復興に役立つ統計の整備に資することを目的として、統計委員会と統計利用者との意見交換会を開催する。

2. ご説明・ご意見を伺う統計利用者

中村 研二 日本政策投資銀行地域企画部地域振興グループ課長兼主任研究員
「地域経済の分析～地域活性化検討のための統計利用について～」

3. 意見交換会の論点

地域の実態の把握・分析のための統計について

地域の現状や地域を取り巻く構造変化、他地域との相互依存等をマクロ及びミクロの視点からどのように捉え、分析しているか。また、分析する上での問題点は何か。今後このような地域の実態把握及び地域資源を活用した地域活性化の検討のためにはどのような統計整備の方向性が考えられるか。

東日本大震災の被災状況、震災からの復興に向けた統計の活用について

今回の大震災において、地域ごとの被害の状況は、どのように把握できるか。今後、震災からの復興に向けてどのような統計の活用が考えられるか。

以上

(参考)

「公的統計の整備に関する基本的な計画」(平成21年3月13日閣議決定)における
統計利用者との意見交換会に関する記述

本文 第3章 (1) 統計ニーズの継続的な把握・活用

ア 現状・課題等

府省横断的なニーズについては、統計委員会が統計利用者との意見交換を随時実施し整理・検討を行った上で、その結果を関係府省における統計の整備及び提供や基本計画の見直し等に活用すること。

イ 取組の方向性

統計ニーズを的確に把握するため、従来から各府省が実施してきた個別の取組に加え、統計利用者の要望等を幅広く把握するとともに、統計利用者との意見交換の場を設け、府省横断的な統計等の整備・改善に反映する。

別表 今後5年間に講ずべき具体的施策

項目	具体的な措置、方策等	担当府省	実施時期
3 経済・社会 の環境変化 への対応 (1) 統計ニ ーズの継続 的な把握・活用	各府省の政策部門、関係学会、経済界等の統計利用者との意見交換を随時実施し、府省横断的な統計作成基盤の整備、新たな統計の整備等を中心とした統計利用者のニーズへの対応について絞り込んだ検討を行った上で、その結果を関係府省における統計の整備及び提供、基本計画の見直し、諮問事項の審議等に活用する。	内閣府(統計委員会)	平成21年度から実施する。